

# 下里中だより

令和 7年 1月20日  
東久留米市立下里中学校

教育目標 ・知性を高めよう ・心身を鍛えよう ・広く思いやろう

## 3学期のスタートにあたって

校長 藤井 和重

新年明けましておめでとうございます。保護者の皆様やご家族の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと存じます。

さて、1月に入り、冬の寒さが一層厳しさを増してきました。今年の関東地方は、例年並みの寒さが予想されている一方で、積雪の可能性が高いとの見通しが報じられています。気象庁によると、冬型の気圧配置が強まる時期には関東平野部でも降雪の可能性があり、特に1月下旬から2月上旬にかけては注意が必要だそうです。

東京では、雪が降ることはそれほど多くはありませんが、何年かに一度は、かまくらを作ることができるくらいに積ることがあります。積雪後の雪かきは大変ですが、雪を見慣れていない私たちは、積もった雪を見るだけで何となく心がウキウキとしてしまいます。

江戸時代の越後(現在の新潟県)の魚沼に住んでいた鈴木牧之(すずきぼくし)は、雪国の気象、暮らしや生活、人々の心情、雪とのかかわりについて『北越雪譜(ほくえつせっぷ)』という本に著しました。今でいうルポルタージュ(書物などによる現地報告)ですが、江戸の文壇でも高い評価を受けました。予期せぬ吹雪や信じられないような積雪量など、現在でもはるかに想像を超えてしまう叙述に、今、読んでも新鮮な感覚を受けます。雪国の人たちは雪と付き合う時間が長く、苦勞も桁違いですが、だからこそ雪との付き合い方も上手で、助け合いや協力が生活の一部になっています。本校でも積雪対策については、事前に安全対策を講じ、生徒の皆さんが安全に通学できるように注意喚起を徹底していきます。

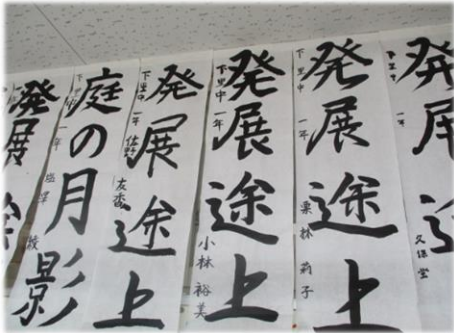
さて、3学期は1年間の締めくくりとなる大切な学期です。3年生にとっては、卒業までの限られた日々をいかに充実させるかが重要です。進路を控えた緊張感の中にも、クラスや学年の友達との最後の学校生活を楽しく、そして意義深いものにしてほしいと願っています。1年生・2年生の皆さんも、それぞれの学年での学びの集大成を迎えます。新学年への準備を意識しながら、日々の生活を大切に過ごしてください。

保護者の皆様におかれましては、ご家庭での毎日のサポートに改めて感謝いたします。3学期は学年のまとめの時期でもあり、学力向上に向けた支援や生活リズムの安定など、引き続きのご協力をお願いする場面もあるかと思えます。特に、朝の時間の過ごし方は、その日の学びの成果に大きく影響を与えることが分かっています。寒い季節ではありますが、子供たちには規則正しく早寝早起きと朝ごはんをしっかりと食べる習慣を続けてもらいたいと思っています。ご家庭でのご協力を、どうぞよろしく願いいたします。

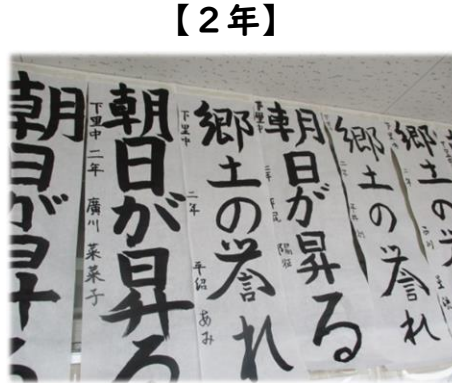


☆校内書き初め展 1月10日（金）～24日（金）☆

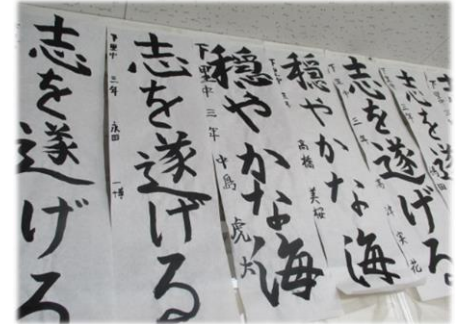
全作品を廊下に掲示し、同学年生徒の作品をお互いに鑑賞できるようにしました。1年生では「発展途上」・「庭の月影」、2年生では「朝日が昇る」・「郷土の誉れ」、そして3年生では「志を遂げる」・「穏やかな海」の各学年2つの候補より自ら選び、それぞれのもつ言葉の意味を考え、思いを込めて書きました。



【1年】



【2年】



【3年】

☆下中生の活躍☆

- ・卓球部 第11ブロック新人卓球大会 男子団体 優勝
- ※第67回東京都中学校新人卓球大会出場決定！！

☆がんばれ3年生！～受験生応援企画～☆

生徒会企画「受験生応援」において、始業式後に1・2年生全員が3年生に向けて作成した受験応援メッセージカードを生徒会役員及び各委員会委員長の皆さんがステージで紹介し、また、3年生に向けてのエールを贈りました。応援メッセージは、1年生は縦割りの3年生各クラスに、2年生は生徒昇降口に掲示しました。がんばれ3年生！



【生徒会役員・委員長より】



【1年生より】



【2年生より】

☆チャレンジクラス保護者説明会 ～1月18日（土）～

1月18日（土）にチャレンジクラス保護者説明会を行いました。チャレンジクラスとは、東京都教育委員会が事業として実施する不登校施策事業です。主な目的は、登校日数の増加、学習内容の定着、学校内外の機関等や教職員による相談・指導等を受けていない生徒の解消になります。令和7年度より東久留米市では下里中にこのチャレンジクラスを設置することになりました。

